

日本宗教学会
第61回学術大会

2002年9月13日(金)～15日(日)

大正大学

東京都豊島区西巢鴨3-20-1

お知らせ・お願い

1. 受付で名札をお受け取りください。お帰りの際は受付に名札をご返却ください。
2. 受付には学会本部が出張しております。学会費未納の方はお納めください。
3. 研究発表者は、発表の2番前には、その部会の会場においでください。また申し込み時にOHP、スライド、パワーポイントの使用を申請された方は、発表する部会の始まる前に(午前の部会なら開始前に、午後の部会なら昼休みに)会場係にお申し出ください。
4. 発表時に配布するレジュメ・資料が足りなくなることがあります。余裕をもってご用意ください。
5. 一般部会の発表は1人15分、質問時間は5分となっております。発表時間の厳守をお願いいたします(初鈴13分、二鈴15分、三鈴20分)。
6. 研究発表のレジュメ(表紙・本文)は、部会責任者にお渡しください。その際の表紙は18頁を切り離してご利用ください。印刷の能率化のため、本年度より、レジュメは通常の原稿のほかに、フロッピーディスクでも提出していただくことになりました。諸注意につきましては、17頁をご覧ください。
7. 喫煙は所定の場所以外ではご遠慮ください。
8. 駐車スペースが限られているため、車での来場はご遠慮ください。
9. 大会開催中、6号館(学生ホール)1階食堂(13日・14日昼食時のみ)、2号館2階でコンビニエンス・ストア“ローソン”(13日~15日)が営業しております。
10. 懇親会会場には定員がありますので、当日の申込みはお断りする場合がございます。

| | | |
|--------------|---|------------------|
| 受 | 付 | 9月13日 8号館(礼拝堂)入口 |
| | | 9月14日・15日 3号館入口 |
| 会員休憩室 | | 3号館2階321号・322号 |
| | | 3号館3階333号・334号 |
| ク | ロ | ク 3号館1階311号 |
| 昼食引き渡し | | 6号館(学生ホール)1階食堂 |
| 学会本部・大会実行委員会 | | 3号館1階教員控室 |

日 程

9月13日（金）

| | | |
|-----------------------|-------------|-------------|
| 各種委員会 | 2号館3階 | 12:30~14:30 |
| 学会賞選考委員会 | 2号館3階 | 12:30~14:30 |
| 開会式 | 8号館（礼拝堂） | 14:40~15:00 |
| 公開講演会 | 8号館（礼拝堂） | 15:00~17:00 |
| 「『維摩経』サンスクリット原典発見の意義」 | 大正大学学長 松濤誠達 | |
| 「生命倫理と宗教」 | 大正大学教授 藤井正雄 | |
| 理事会 | 2号館8階会議室 | 17:30~19:30 |

9月14日（土）

| | | |
|-----------------------------------|-----------|-------------|
| 一般部会（1~10部会） | 3号館 | 9:00~12:00 |
| 特別部会A1「大学教育としての宗教学 第一部」 | | |
| | 4号館2階421号 | 9:00~12:00 |
| 評議員会 | 1号館2階大会議室 | 12:00~13:30 |
| 一般部会（1~10部会） | 3号館 | 13:30~16:30 |
| 特別部会B「墓と戒名—変わりゆく死生観」 | | |
| | 1号館2階大会議室 | 13:30~16:30 |
| 特別部会C「21世紀における諸宗教の共存とアイデンティティの問題」 | | |
| | 4号館2階421号 | 13:30~16:30 |
| 会員総会 | 3号館2階323号 | 16:40~17:40 |
| 懇親会 | カフェテリア | 18:00~20:00 |

9月15日（日）

| | | |
|-------------------------|-----------|-------------|
| 一般部会（1~10部会） | 3号館 | 9:00~12:00 |
| IAHR2005年東京大会実行委員会 | 2号館3階 | 12:00~13:30 |
| 『宗教研究』編集委員会 | 2号館3階 | 12:00~13:30 |
| 一般部会（1~10部会） | 3号館 | 13:30~16:30 |
| 特別部会A2「大学教育としての宗教学 第二部」 | | |
| | 1号館2階大会議室 | 13:30~16:30 |
| 閉会式 | | 各部会終了後部会ごとに |

特別部会 A 1 「大学教育としての宗教学 第一部」

(9月14日 9:00~12:00 4号館2階421号)

コーディネータ・司会 藤原聖子 (大正大学助教授)

発表者と発表題目 (仮題を含む)

1. 北米における「宗教学」教育と大学院システム—情報アクセスの様式をめぐって
岡田 正彦 (天理大学宗教学科助教授)
2. イギリス・アメリカでの日本人研究者の就職の実態と可能性
松岡 秀明 (ロンドン大学東洋アフリカ研究院ポストドクトラル・フェロー)
3. 日常生活から「宗教」を発見する—インタラクティブな学びのデザインをめざして
櫻尾 直樹 (慶應義塾大学文学部人文社会学科社会学専攻助教授)
4. 現代社会を理解するために—一般教育から大学院までの宗教社会学
櫻井 義秀 (北海道大学大学院文学研究科社会システム科学講座助教授)
5. 「環境宗教学」—理系大学における新しい宗教学講義の試み
岡田真美子 (兵庫県立姫路工業大学環境人間学部教授)

特別部会 A 2 「大学教育としての宗教学 第二部」

(9月15日 13:30~16:30 1号館2階大会議室)

コーディネータ 藤原聖子 (大正大学助教授)
司 会 深澤英隆 (一橋大学教授)・藤原聖子
コメンテータ 井上順孝 (國學院大学教授)

発表者と発表題目 (仮題を含む)

1. 調査報告：日米教育制度における宗教学の現状
山梨有希子 (大正大学講師)
2. 米国高等教育における宗教学の現状と課題—近年の論争から
島田 勝巳 (天理大学宗教学科専任講師)
3. 宗教学の社会的貢献の可能性を巡る模索—ドイツ統一後の社会情勢と大学に於ける宗教学の対応
久保田 浩 (テュービンゲン大学文化学部専任講師)
4. 日本における宗教学テキスト事情の批判的検討
笹尾 典代 (恵泉女学園大学人文学部助教授)
5. 宗教学は何のために
渡辺 学 (南山大学総合政策学部教授、南山宗教文化研究所第一種研究所員)

特別部会B「墓と戒名－変わりゆく死生観」

(9月14日 13:30~16:30 1号館2階大会議室)

コーディネータ 鷺見定信 (大正大学助教授)
司 会 鷺見定信・大塚秀見 (大正大学講師)
コメンテータ 中牧弘允 (国立民族学博物館教授)

発表者と発表題目 (仮題を含む)

1. 近代化と葬儀の移り変わり－葬の個人化を中心に
村上 興匡 (東京大学助手)
2. 新宗教の靈魂観と法名
孝本 貢 (明治大学教授)
3. 1990年代の墓の変容とその行方
井上 治代 (日本大学講師)
4. 変容する葬送を巡る意識と儀礼－浄土宗僧侶と檀信徒の意識調査を中心に
武田 道生 (大正大学講師)
5. 寺院仏教と墓・戒名
小山 典勇 (大正大学助教授)

特別部会C「21世紀における諸宗教の共存とアイデンティティの問題」

(9月14日 13:30~16:30 4号館2階421号)

コーディネータ・司会 星川啓慈 (大正大学教授)
コメンテータ 鎌田 繁 (東京大学教授)・間瀬啓允 (東北公益文科大学教授)

発表者と発表題目 (仮題を含む)

1. グローバル化の進展と教理・教義・教学をめぐる諸問題
星川 啓慈 (大正大学教授)
2. アジアの宗教的多元性とキリスト教思想の再構築
芦名 定道 (京都大学助教授)
3. ひとつの神と3つの宗教－イスラームをめぐる宗教間対話
塩尻 和子 (筑波大学助教授)
4. 仏教において《諸宗教の教学》は可能だろうか？
高田 信良 (龍谷大学教授)

1部会 (3号館2階323号)

14日(土) 9:00~12:00

1. 近年の世俗化論争とその焦点
2. マックス・ヴェーバーにおける「宗教」概念
3. 宗教ナショナリズムと原理主義
4. 宗教と公共性
5. 日本のポストコロニアル宗教研究について
6. 植民地主義と宗教—19世紀後半のフランスから—
7. M.ヴェーバーの文化発展観—徳川時代の天皇と将軍との関係—
8. 比較宗教学とスピリチュアリズム
9. 政治的宗教とスピリチュアリズム

- 諸岡 了介 (東北大)
荒川 敏彦 (埼玉大)
近藤 光博 (日本学術振興会)
寺戸 淳子
沈 善瑛 (筑波大)
竹沢尚一郎 (国立民族学博物館)
池田 昭
津城 寛文 (静岡県立大)
井門富二夫 (筑波大)

14日(土) 13:30~16:30

1. インターレリジヤス・エキスペリアランスの仮説
2. W.ジェームズにおける「宗教的経験」と「神秘的経験」
3. 宗教学的回心研究の試み
4. J.ファウラーの信仰発達理論 (FDT) 再考
5. 純粹経験の存在論
6. フロイトとユングにおける社会的なもの—禁欲から欲望のケアへ—
7. 『中央公論』にみるわが国近代以降の死の扱い
8. 人生過程観と宗教
9. 信仰の分類法について

- 濱田 陽 (国際日本文化研究センター)
堀 雅彦 (南山宗教文化研究所)
徳田 幸雄 (東北大)
山中 修吾 (天理大)
沖永 宜司 (帝京大)
堀江 宗正 (聖心女子大)
鈴木 岩弓 (東北大)
宇都宮輝夫 (北大)
加藤 智見 (東京工芸大)

15日(日) 9:00~11:20 テーマセッション

日本の宗教学者

1. 明治期啓蒙知識人とユニテリアニズム
 2. 戦前日本のイスラーム研究とその系譜
 3. 昭和期の帰一協会と姉崎正治—昭和初期の例会状況—
 4. 岸本英夫の禅宗観—その修行論を中心に—
 5. 柳川宗教学の批判的継承
- 総合討論

- 司会 林 淳 (愛知学院大)
山口 亜紀 (名古屋大)
大澤 広嗣 (国際宗教研究所)
高橋 原 (国際宗教研究所)
金子 奈央 (東大)
島田 裕巳

15日(日) 11:20~12:00

6. 心に自由はあるか?
7. 如何なる宗教学が何の役に立てるか?

- 関 一敏 (九大)
カール・ベッカー (京大)

15日(日) 13:30~16:30

1. ペッタツォーニ宗教学の射程
2. 宗教研究を巡る「現象」という理念
3. ポスト・エリアーデ時代の宗教現象学とエリアーデ
4. 戦後アメリカにおける宗教史と宗教学の側面
5. イギリス宗教の分析視角をめぐって
6. 文化学と宗教学—宗教を論ずる場の問題として—
7. 「肉食妻帯論」再考
8. 「憑依」再考
9. 現代イスラーム理解の一視点

- 江川 純一 (東大)
飯田 篤司 (工学院大)
東馬場郁生 (天理教校)
奥山 倫明 (南山大)
山中 弘 (筑波大)
掛川 富康 (茨城キリスト教大)
中村 生雄 (阪大)
池上 良正 (駒大)
中村廣治郎 (桜美林大)

2部会 (3号館2階324号)

14日(土) 9:00~12:00

1. パウロにおける二重予定の問題—遺棄の問題を中心に—
2. パウロと親鸞における宣教意識—回心体験のもたらす地平—
3. アンセルムスにおけるアモル、カリタス、ディレクティオ
4. ルターにおける「二重の義」について
5. ルターにおける愛の法の理解
6. O.クルマンにおける救済史的神学について
7. 古代アレクサンドリアの文化多元主義的状況とオリゲネス神学
8. タウラーと東方教会の人間神化(テオーシス)思想

野口 誠 (茨城キリスト教大)
高山 貞美 (上智大)
山崎 裕子 (文教大)
竹原 創一 (立教大)
早乙女禮子 (大阪体育大)
名木田 薫 (倉敷芸術科学大)
出村みや子 (フェリス女学院大)
田島 照久 (早大)

14日(土) 13:30~16:30

1. 多元主義神学における神話と言語
2. ヤーコブ・ベーメにおける無底に関する一考察
3. イェーナ期フィヒテの宗教論について
4. ヤコービの理性批判の核心とは?—【スピノザ書簡】を中心に—
5. 真理の領域—ハイデッガーとゲーテの思索に於ける—
6. ヤスパースと〈預言者的哲学〉
7. A.v.フランケンベルクの神秘思想
8. キェルケゴールとハンス・ブレンナー

若林 裕 (同志社大)
星川 隆吉 (龍大)
諸岡道比古 (弘前大)
後藤 正英 (日本学術振興会)
田中 敏明 (龍大)
土佐 明 (京大)
岡部 雄三 (東大)
尾崎 和彦 (明大)

15日(日) 9:00~11:00 テーマセッション

キルケゴール—その多様な「読み」の可能性

1. キルケゴールの比喩の使用に関する一考察
 2. 逆説、理性、伝達可能性について
 3. S.キェルケゴール心理学における方法の問題
 4. キルケゴール思想における死の位置づけ
- 総合討論

司会 長谷 修孝 (法大)
須藤 孝也 (一橋大)
藤枝 真 (大谷大)
平林 孝裕 (関西学院大)
長谷 修孝 (法大)

15日(日) 11:00~12:00

5. 新プラトン主義におけるダイモンの悪霊化
6. ヌメニオスにおける神
7. プラトンにおける恋愛論—その理念の展開の可能性—

鈴木 順 (東大)
土屋 睦廣 (早大)
和田 義浩 (早大)

15日(日) 13:30~16:30

1. 死と情念を巡って—ニュッサのグレゴリオスの【パイドン】読解—
2. 「神への帰還」と祈り—プラトン主義の伝統から—
3. 宗教的世界観における歴史的意識について
4. 田辺元「死の哲学」における死の理解について
5. 西谷啓治「空と即」における「一即零、零即多」について
6. 立場とはいかなる場所であるか—西谷宗教哲学を介して—
7. 歎異抄の宗教観と西田哲学の接点
8. 思量と非思量の思量の問題—哲学から宗教哲学へ—

柳澤 田実 (東大)
土井 裕人 (筑波大)
加島 史健 (大阪明星学園高)
浅見 洋 (石川県立看護大)
小野 真 (大阪外国語大)
西元 和夫 (龍大)
中山 一萱 (京都産業大)
花岡 永子 (奈良産業大)

3部会 (3号館2階325号)

14日(土) 9:00~12:00

- | | |
|-----------------------------------|----------------|
| 1. 『阿毘曇心論』業品における十業道について | 智谷 公和 (相愛大) |
| 2. 再考「仏不説法家」について | 大竹 晋 (日本学術振興会) |
| 3. 在家信者の不姪 | 香川 真二 (龍大) |
| 4. 大安般守意經における十六特勝について | 洪 鴻榮 (立正大) |
| 5. TSにおける一切智者の論証方法 | 曾雌美知恵 (東大) |
| 6. パーリ註釈文献における sadattha の語義解釈について | 田村 典子 (東大) |
| 7. Tarkajvālā の著者問題について | 渡邊 親文 (龍大) |
| 8. 菩薩道としての医薬学—『入法界品』を中心として— | 小林 圓照 (花園大) |

14日(土) 13:30~16:30

- | | |
|-------------------------------------|--------------------|
| 1. ヴィヴェーカーナンダのカルマ・ヨーガについて | 堀内みどり (天理大おやさと研究所) |
| 2. 仏教とジャイナ教における頭陀 | 茨田 通俊 (東方研究会) |
| 3. 自然哲学と宗教性は両立するか—インド実在論学派を中心に— | 三浦 宏文 (東洋大東洋学研究所) |
| 4. Ayāraṅga-sutta I と Dhammapada183 | 渡辺 研二 (淑徳短大) |
| 5. 彰所知論における宇宙論 | 阿部 真也 (大正大総合佛教研究所) |
| 6. 『正法念処經』における風 (rlung) の定義 | 石川 美恵 (東洋大東洋学研究所) |
| 7. 「無記化化禪」について | 長倉 信祐 (大正大総合佛教研究所) |
| 8. 「趙宋天台」の用法について | 林 鳴宇 (駒大) |

15日(日) 9:00~12:00

- | | |
|---------------------------|--------------------|
| 1. 唐道閑『観無量寿經疏』に於ける人間観の一考察 | 上野 成観 (龍大) |
| 2. 善導『観經疏』序題門について | 柴田 泰山 (大正大総合佛教研究所) |
| 3. 『観無量寿經』における神足通 | 龍口 明生 (龍大) |
| 4. 中国仏教における末法思想の記述について | 原田 哲了 (龍大) |
| 5. 『往生論註』における五念門について | 松尾 得晃 (龍大) |
| 6. 天台教学における釈尊観の一側面 | 田村 完爾 (立正大) |
| 7. 天台智顛教学における毒発義をめぐる一考察 | 山内 寛久 |
| 8. 弥陀弥勒両信仰について | 金子 寛哉 (大正大) |

15日(日) 13:30~16:30

- | | |
|--|---------------------|
| 1. シュリーチャクラにおける女神の配置について | 井田 克征 (金沢大) |
| 2. Cakrasaṃvaratantra の構造 | 杉木 恒彦 (武蔵野女子大) |
| 3. マンダラにおける数の美学的考察—Hevajra-tantra 第1章— | 圓井 力 (東洋大) |
| 4. 十地における所得の果について | 李 貞淑 (立正大) |
| 5. 房山雷音洞収蔵『賢劫千仏出賢劫經』について | 白山 和宏 (立正大法華經文化研究所) |
| 6. 法顯・玄奘等の記録に見られる大小乗の関係について | 竹内 正祥 (立正大) |
| 7. 曇無讖は何故に四十卷涅槃經を捏造したのか—法性空と仏性空— | 武田 浩学 (国際仏教学大学院大) |
| 8. F.Wang-Toutain 著『5~13世紀の中国地藏信仰』考 | 清水 邦彦 (金沢大) |

4部会 (3号館3階331号)

14日(土) 9:00~12:00

- | | |
|-----------------------------------|-------------------|
| 1. 真宗学における解釈の問題 | 井上 善幸 (浄土真宗教学研究所) |
| 2. 真宗教団の基底 | 安藤 章仁 (龍大) |
| 3. 真宗伝道と「知識」－『談義本』に見られる表現を通して－ | 伊藤 唯道 (龍大) |
| 4. 親鸞の思想における三願－三願転入の文を中心として－ | 小川 直人 (大谷大) |
| 5. 真宗念佛の儀礼性 | 清水 大 (龍大) |
| 6. 浄土真宗における追善供養の問題－『歎異抄』をてがかりとして－ | 曾我 宗慶 (大谷大) |
| 7. 存覚の伝道 | 高山 秀嗣 (龍大) |
| 8. 親鸞の方便理解 | 山本 浩信 (浄土真宗教学研究所) |

14日(土) 13:30~16:30

- | | |
|----------------------------|------------------|
| 1. 源信における称名念仏について | 高田 文英 (龍大) |
| 2. 法然擬撰『登山状』の「八億四千念」について | 龍口 恭子 (龍大) |
| 3. 説話にみる聖と一切経 | 田中 夕子 (佛教大総合研究所) |
| 4. 聖光房辨長における「専修」理解について | 那須 一雄 |
| 5. 「逆修説法」における浄土三部経の設定とその境界 | 能島 覚 (龍大) |
| 6. 選択本願念仏と結帰一行三昧 | 林田 康順 (大正大) |
| 7. 円光大師二十五所廻 | 山本 博子 (佛教大) |
| 8. 岡山・東寿院阿弥陀如来像の像内納入品資料 | 青木 淳 (高知女子大) |

15日(日) 9:00~12:00

- | | |
|----------------------------------|----------------|
| 1. 親鸞における輪廻の意味 | 武田未来雄 (大谷大) |
| 2. 『末燈鈔』第八通の一考察 | 中臣 至 (龍大) |
| 3. 親鸞浄土教における過去と現在 | 中原 正信 (龍大) |
| 4. 親鸞における雑行・雑修の異名について | 平原 晃宗 (大谷大) |
| 5. 信心の智慧－「信巻」所引の『論註』の文を中心として－ | 本明 義樹 (大谷大) |
| 6. 浄土教に見られる世俗性に対する批判原理－親鸞を学ぶ一視座－ | 本多 静芳 (武蔵野女子大) |
| 7. 真宗の実践における諸問題 | 宇治 和貴 (龍大) |

15日(日) 13:30~16:30

- | | |
|----------------------------------|--------------------|
| 1. 即身成仏義言の思想と『即身義』 | 大沢 聖寛 (大正大) |
| 2. 空海の「即身」の論理－密教の自己克服の必然性とその到達点－ | 津田 眞一 (国際仏教学大学院大) |
| 3. 相生皇覚の四句成道論 | 花野 充道 (早大) |
| 4. 日蓮の浄土論 | 河村 孝照 (日本伝統文化研究所) |
| 5. 日蓮の鎌倉進出の時期をめぐって | 寺尾 英智 (身延山大) |
| 6. 日蓮の遺文執筆における『注法華経』の役割について | 関戸 堯海 (立正大日蓮教学研究所) |
| 7. 日蓮の『立正安国論』撰述に関する一研究 | 北川 前肇 (立正大) |
| 8. 日蓮仏教における「観心」解釈の二側面 | 渡邊 寶陽 (立正大) |

5部会 (3号館3階332号)

14日(土) 9:00~12:00

- | | |
|----------------------------------|---------------------|
| 1. 近代日本の「神道」概念—制度と思想の接点— | 遠藤 潤 |
| 2. 国学研究と近代神道学 | 松本 久史 (國學院大日本文化研究所) |
| 3. 神の助数詞「柱」の用法—記紀神話形成期の神觀念と言語意識— | 三橋 正 (大正大) |
| 4. 軍神の近世的位相—伊勢貞丈『軍神問答』を中心にして— | 森 和也 (東方研究会) |
| 5. 位牌・戒名・血脈をめぐる交換論的図式について | 須藤 寛人 (駒大) |
| 6. 墓を通じてみたキリスト教受容の諸相 | 待井扶美子 (東北大) |
| 7. 墓上施設の現在—隠岐島前の「スヤ」をめぐる— | 山崎 亮 (島根大) |
| 8. 〈無縁者の墓地〉という舞台—近世日本の三都比較から— | 土居 浩 (ものつくり大) |

14日(土) 13:30~16:30

- | | |
|----------------------------------|---------------------|
| 1. 崇りと怨霊 | 米井 輝圭 (文化庁) |
| 2. 御嶽教の教団再編過程について—渡辺照吉管長の動向を中心に— | 中山 郁 (國學院大) |
| 3. 熊野信仰におけるヤタガラスの意味 | 環 栄賢 |
| 4. 近世における七面山信仰の展開 | 望月 真澄 (身延山大) |
| 5. 角行系宗教と富士講 | 大谷 正幸 |
| 6. 修験者の定着時期に関する一考察 | 伊藤 辰典 (日本学術振興会) |
| 7. 中世彦山四十九窟の一形態 | 山本 義孝 (静岡県浅羽町教育委員会) |
| 8. 熊野那智「本願」寺院の役割—慶長年間の造営をめぐる— | 根井 浄 (神戸常盤短大) |

15日(日) 9:00~12:00

- | | |
|--------------------------------|---------------------|
| 1. 中九州地方の民間宗教者に関する研究 | 加藤 之晴 (駒大) |
| 2. 沖縄本島北部における仏教の浸透とシャーマニズムへの影響 | 塩月 亮子 (日本橋学館大) |
| 3. 戦没者の記憶と民間巫者の儀礼—沖縄本島の事例から— | 佐藤 壮広 (国際宗教研究所) |
| 4. 韓国巫俗の地域差—守護霊としての祖先を中心に— | 川上 新二 (駒大) |
| 5. 台湾都市部における民間信仰に関する一考察 | 岡部 雅明 (駒大) |
| 6. 中国白族のシャーマン | 菅原 壽清 (曹洞宗総合研究センター) |
| 7. ポサルの憑霊—脱魂の性格について—日韓の比較— | 佐藤 憲昭 (駒大) |
| 8. オミナーレン—エヴェンキ族の降神儀礼について— | 佐々木宏幹 (駒大) |

15日(日) 13:30~16:30

- | | |
|-----------------------------------|-------------|
| 1. 波多野精一『宗教哲学』と丸山真男 | 村松 晋 |
| 2. 佐藤賢順の比較宗教哲学について | 久保 紀生 (大正大) |
| 3. 和辻における美と善—『倫理学』以後を中心に— | 宮野 美子 (京大) |
| 4. 鈴木大拙的思想の現代的展開 | 和田 真二 |
| 5. 鈴木大拙の最後の仏教表現と古神道全否定論への疑義と点睛の試み | 工藤 亨 |

6部会 (3号館3階335号)

14日(土) 9:00~12:00

- | | |
|---------------------------------|-----------------|
| 1. 「イエスの方舟」会員たちが信仰の証しとして語る千石剛賢像 | 新免 貢 (宮城学院女子大) |
| 2. アレフにおけるカリスマの継承について | 尾堂 修司 |
| 3. 『ナウシカ』再考—終末論の「東」と「西」— | 十津 守宏 (鈴鹿国際大短大) |
| 4. 文化の秘教的構造について | 小池 靖 (日本学術振興会) |
| 5. 情報社会と宗教理論 | 黒崎 浩行 (國學院大) |
| 6. 教典翻訳者の領域 | 藤谷 政躬 |
| 7. 宗教研究における物語論の意義 | 宮本要太郎 (筑波大) |
| 8. オーディンとトール—北欧神話研究方法との関連で— | 中里 巧 (東洋大) |

14日(土) 13:30~16:30

- | | |
|----------------------------------|------------------|
| 1. 現代における宗教テキストとその再演をめぐる諸相 | 市田 雅崇 (慶大) |
| 2. 学生レポートに見る「幸せ」の条件—伝統的宗教文化の可能性— | 島田 潔 (國學院大) |
| 3. 若者の宗教倫理のセラピー化について—学生アンケートの分析— | 熊田 一雄 (愛知学院大) |
| 4. インドネシアの仏教復興を支えた象徴的比丘の死 | 木村 文輝 (愛知学院短大) |
| 5. 南インドの一教区におけるキリスト教徒と生活世界の—断面 | 岡光 信子 (東北大) |
| 6. スリランカにおける食文化と戒律 | 神谷 信明 (岐阜市立女子短大) |
| 7. ソロアスター教における聖典の変容 | 青木 健 (東大) |
| 8. ソロアスター教徒パーシーの過去帳と祖先祭祀について | 中別府溫和 (宮崎公立大) |

15日(日) 9:00~12:00 テーマセッション

ジェンダーと宗教

- | | |
|--------------------------|---------------------|
| 1. セクシュアル・マイノリティと宗教 | 司会 渡辺 和子 (東洋英和女学院大) |
| 2. 立山信仰と女人禁制 | 日平 勝也 (東大) |
| 3. 女の靖国をめぐって | 野村 文子 (川村学園女子大) |
| 4. 教団の呈示する「ジェンダー」と入信時の魅力 | 川村 邦光 (阪大) |
| 5. エコ・フェミニズムとアジアのカトリック教会 | 猪瀬 優理 (北大) |
| 総合討論 | 木村 晶子 (藤女子大) |

15日(日) 13:30~16:30

- | | |
|---------------------------|------------------|
| 1. 中江藤樹の孝信仰と良知 | 鈴木 保實 (愛知県立明和高) |
| 2. 幕末佐賀藩精神史—義祭同盟を中心として— | 西田みどり (大正大) |
| 3. 井上正鐵の救済観 | 荻原 稔 (都立羽村養護学校) |
| 4. 津田左右吉における『老子』思想の研究について | 郭 永恩 (神戸市立外国語大) |
| 5. 近代日本の日蓮主義と終末論 | 大谷 栄一 (東洋大) |
| 6. 日蓮研究への宗教社会学的アプローチ | 笠井 正弘 (西日本短大) |
| 7. 『徒然草』における宗教と倫理 | 鈴木 元久 (東京家政学院短大) |

7 部会 (3号館3階336号)

14日(土) 9:00~12:00

- | | |
|-----------------------------------|----------------|
| 1. H.パッチュの聖餐研究—シュヴァイツァーとの関連において— | 田辺 明子 (プール学院大) |
| 2. 両手使いの聖書の神—アインシュタインの両手使いの脳から考察— | 木原 範恭 (近大) |
| 3. ガリレオの背景にある価値観 | 柄津 照信 |
| 4. 西洋科学と宗教の交渉 | 前川 理子 (東大) |
| 5. 明治期におけるある仏基論争—争点としての「宗教」をめぐって— | 星野 靖二 (東大) |
| 6. 日本人クリスチヤンの宗教性深化 (発達) 過程モデルの検証 | 松島 公望 (東京学芸大) |
| 7. 植村正久の霊性観—植村正久『霊性の危機』を中心に— | 氏家 法雄 (立教大) |
| 8. 宮沢賢治とアンデルセンの宗教世界—近代科学と民間信仰の統合— | 大澤千恵子 (東大) |

14日(土) 13:30~16:30

- | | |
|-----------------------------------|-------------------|
| 1. 権利と霊性—現代ハワイ先住民運動の中で語られる「土着」信仰— | 竹村 初美 (東大) |
| 2. 信仰をもたない人への宗教的援助—スピリチュアルケア— | 林 弘幹 (真宗大谷派教学研究所) |
| 3. 現代日本の宗教と個人の宗教意識・霊性 | 半田 栄一 (嘉悦大) |
| 4. 職場のスピリチュアリティ—運動—アメリカでの研究教育— | 村山 元理 (常磐大) |
| 5. 澤柳政太郎における宗教と教育 | 高橋由記子 (大正大) |
| 6. 新渡戸稲造の修養論—女性の修養を中心として— | 森上 優子 (お茶の水女子大) |
| 7. 近代曹洞宗における教育と修行 | 熊本 英人 (駒大) |
| 8. 神という次元—物語完成法による宗教学教育の試み— | 安藤 泰至 (鳥取大) |

15日(日) 9:00~12:00 テーマセッション

「いのち」と宗教

- | | |
|----------------------------------|---------------------|
| 1. 「いのち」はいかに表象されてきたか—現代の事例と概念— | 司会 葛西 賢太 (宗教情報センター) |
| 2. 生命の発生に関わる技術と宗教—仏の命と人間の命をめぐって— | 葛西 賢太 (宗教情報センター) |
| 3. 韓国仏教の胎中生命保護運動—中絶防止教育と仏典理解— | 中野 東禅 (曹洞宗総合研究センター) |
| 4. 自死—その論点をめぐって— | 淵上 恭子 |
| 5. 宗教学からの生命倫理への問い | 金 永晃 (大正大総合佛教研究所) |
| 総合討論 | 島菌 進 (東大) |

15日(日) 13:30~16:30

- | | |
|----------------------------|---------------------|
| 1. アニミズムと環境倫理 | 若林 明彦 (法政大) |
| 2. 共生理論における本願—その効用に関する—考察— | 桑原 恒久 (大正大) |
| 3. 踊り念仏の現象学 | 宮嶋 俊一 (神奈川大) |
| 4. 日想観における生命思想 | 神居 文彰 (佛教大) |
| 5. 日本における水陸会のかたち | 阿川 正貫 (淑徳短大) |
| 6. 大念仏と挽道場 | 神崎 寿弘 (佛教大) |
| 7. 善寶寺開基妙達と龍神信仰について | 渡部 正英 (駒大) |
| 8. 奄美・沖縄民俗宗教における魂の概念 | 加藤 正春 (ノートルダム清心女子大) |
| 9. 東日本方面の天妃信仰 | 窪 徳忠 (大正大総合佛教研究所) |

8部会 (3号館1階313号)

14日(土) 9:00~12:00

- | | |
|--------------------------------|-----------------|
| 1. 抗日運動と日本宗教—抗日運動批判の宗教的論理— | 辻村志のぶ (東大) |
| 2. 植民地朝鮮における「宗教観」 | 川瀬 貴也 (京都府立大) |
| 3. 朝鮮時代の崇儒斥仏政策と仏教界の動向 | 元 永常 (佛教大) |
| 4. 韓国圓仏教にみられる宥和思想 | 福士 慈稔 (立正大) |
| 5. 王羲之の権威化による影響 | 高井 恭子 (愛知県立芸術大) |
| 6. 『大覚国師文集』から見た義天の思想背景について | 鄭 世成 (立正大) |
| 7. 後漢期葬送儀礼における祭神—香港中文大学蔵「序寧」簡— | 池澤 優 (東大) |
| 8. 古代中国祭祀の基本理念と五行思想について | 栗原 圭介 (大東文化大) |

14日(土) 13:30~16:30

- | | |
|-----------------------------------|------------------|
| 1. 大連の宗教状況 | 芦名 裕子 (聖学院大) |
| 2. 中国の民間信仰と外来宗教—文芸に見る外来宗教の受容を中心に— | 常塚 聰 (東大) |
| 3. 中国のチベット研究における「活仏」について | 廣池 真一 (東大) |
| 4. アティーンシャのもう一つの『中観説示』について | 望月 海慧 (身延山大) |
| 5. チベットに伝わった善事太子の説話 | 梶濱 亮俊 (摂南大) |
| 6. マントラ・ヨーガのイスラームの変容 | 榊 和良 (北海道武蔵女子短大) |
| 7. イニシエーションとしての「弁慶」 | 岡村真由美 (日本女子大) |
| 8. モノにクルフ—能における「執着」の構図— | 永原 順子 (京大) |

15日(日) 9:00~11:20 テーマセッション

ライフヒストリーと宗教研究

- | | |
|-----------------------------------|------------------|
| 1. 語りとライフヒストリー—台湾生長の家の事例から— | 司会 川又 俊則 (浦和学院高) |
| 2. 地理学とライフヒストリー—末日聖徒イエスキリスト教会の事例— | 寺田 喜朗 (東洋大) |
| 3. 入信研究とライフヒストリー—世界救世教の信者を事例として— | 竹村 一男 |
| 4. 〈牧師夫人〉のライフヒストリーにみる宗教とジェンダーの問題 | 武井 順介 (立正大) |
| 総合討論 | 川又 俊則 (浦和学院高) |

15日(日) 11:20~12:00

- | | |
|--------------------|----------------|
| 5. 慰霊・記念・モニュメント | 西村 明 (日本学術振興会) |
| 6. 小泉首相の靖国神社参拝について | 菱木 政晴 (西山短大) |

15日(日) 13:30~16:30

- | | |
|--------------------------------|-------------------|
| 1. 「一角獣と男」または「日月の鼠」の説話の図像化について | 細田あや子 (新潟大) |
| 2. 近代芸術における「宗教性」—宗教芸術の理念について— | 石川 明人 (北大) |
| 3. 古バビロニア期の「嘆きの祈り」における苦しみの理解 | 高井 啓介 (日本学術振興会) |
| 4. オリエンツ文学における冥界—入口論をめぐる— | 桑原 俊一 (北海学園大) |
| 5. 初期柳宗悦における宗教と美術 | 李 勝鉉 (東大) |
| 6. 柳宗悦の浄土教観 | 本多 亮 (大正大総合佛教研究所) |
| 7. 浄瑠璃『壺坂霊験記』における生まれ変わり | 細田 明宏 (日本学術振興会) |
| 8. 『とはずがたり』における夢の諸相 | 河東 仁 (立教大) |

9部会 (3号館1階312号)

14日(土) 9:00~12:00

- | | |
|-----------------------------------|------------------|
| 1. 受難物語伝承と紀元40年代エルサレム共同体 | 土居 由美 (東大) |
| 2. カトリックとユダヤ教の対話の一断面 | 木鎌耕一郎 (八戸大) |
| 3. ユダヤ人難民問題 | 横手 征彦 (金城学院大) |
| 4. 殉教と生命の尊重ーラビ・ユダヤ教の視点ー | 市川 裕 (東大) |
| 5. ユリアヌスから見た後期ローマ帝国の「帝権論」と国家祭儀 | 中西 恭子 (東大) |
| 6. 東方正教奉神礼における奉献礼儀の意味について | 中西 裕一 (日大) |
| 7. 事実性としての思惟ーアウグスティヌスの場合ー | 松田健三郎 (天理大) |
| 8. 非キリスト教徒からみたトレルチ『キリスト教の絶対性と宗教史』 | 高野 晃兆 (大阪府立工業高専) |
| 9. シュトラウス『ドイツ民族のためのイエス伝』における神話概念 | 石川 智子 (苫小牧工業高専) |

14日(土) 13:30~16:30

- | | |
|-----------------------------------|-------------------|
| 1. 哲学はキリスト教的根源悪を許容できるかー悪の起源とその定義ー | 福光 瑞江 |
| 2. 聖ベネディクトと21世紀の靈的マネジメント | 坂本 進 (国際靈性研究所) |
| 3. セバステリアン・フランクの靈性主義における歴史批判の意義 | 安酸 敏眞 (聖学院大) |
| 4. ル・フォールにおける「祈り」 | 八木 博 (山梨大) |
| 5. 教典と祈り | 土屋 博 (北海学園大) |
| 6. ルドルフ・オットーと入楞伽經 | 木村 俊彦 (四天王寺国際仏教大) |
| 7. オットーの「神秘主義」論 | 澤井 義次 (天理大) |
| 8. R.オットーとイスラーム | 前田 毅 (鹿児島大) |

15日(日) 9:00~12:00 テーマセッション

宗教の社会参加

- | | |
|--|---------------------------|
| 1. 利他主義及びケア精神の発達と宗教 | 司会 稲場 圭信 (フランス国立社会科高等研究院) |
| 2. 日本における「社会参加仏教」ー法音寺と立正佼成会の事例からー | 稲場 圭信 (フランス国立社会科高等研究院) |
| 3. 戦後における神社界の社会奉仕活動ーハンセン病施設の神社再興ー | ランジャン・ムコバディヤーヤ (東大) |
| 4. 神事芸能と知的障害者援護施設 | 藤本 頼生 (皇學館大神道研究所) |
| 5. 地域開発をめぐる宗教秩序の形成ータイ東北地方の開発僧研究ー 総合討論 | 板井 正斉 (皇學館大) |
| | 泉 経武 (東京外国語大) |

15日(日) 13:30~16:30

- | | |
|-----------------------------------|---------------------|
| 1. 江戸時代の天台維摩經疏研究の動向について | 山口 弘江 (国際仏教学大学院大) |
| 2. 浄嚴の戒律観についての一考察 | 原 隆政 (大正大総合佛教研究所) |
| 3. 普寂の修道論 | 西村 玲 (東北大) |
| 4. 明恵上人の光明についての一考察 | 李 妍淑 (国際仏教学大学院大) |
| 5. 石になった女ー明恵と善妙説話ー | 前川 健一 (大東文化大) |
| 6. 瑩山禪師と「行持道環」の位置関係について | 宮地 清彦 (曹洞宗総合研究センター) |
| 7. 「一切衆生悉有仏性」の「有」の意味ー特に道元と親鸞においてー | 日野 慶之 (龍大) |
| 8. 『正法眼蔵山水經』の現代的意義 | 土田 友章 (南山大) |

10部会 (3号館2階314号)

14日(土) 9:00~12:00

1. 二種深信的自我同一性についての試考
2. 古代伽藍造営の基本思想
3. 阿弥陀仏の原型—語源および文脈よりの一考察—
4. 法華経提婆達多品を中心とした成立史について
5. 経済的正義と宗教学—センの議論をめぐって—
6. 創造性の起源—D.W.ウィニコットの遊びの理論と神秘主義—
7. 夢占による「標」

- 長岡 岳澄 (龍大)
李 興範 (立正大)
陳 敏齡 (輔仁大)
筒井 奈々 (立正大)
川上 恒雄 (ランカスター大)
田口 博子 (江戸川大)
海山 宏之 (茨城県立医療大)

14日(土) 13:30~16:30

1. 宗教と苦について
2. アフェクトについて
3. 宗教の起源としてのフェティシズム
4. 正義を懐胎する原儀礼的感性—他者をめぐって—
5. 陰陽道の調伏について
6. 将軍宣下と陰陽道—池田昭氏のマナ説をめぐって—

- 桑原 浄信 (龍大)
伊原木大祐 (京大)
村上 辰雄 (国土館大学)
寺尾 寿芳 (和歌山信愛女子短大)
鈴木 一馨 (東方研究会)
林 淳 (愛知学院大)

15日(日) 9:00~12:00

1. 経験を変容する—J.Deweyの文化的道具主義—
2. ティリッヒと神義論の問題
3. 遍路者接待における宗教性の位相—フォークタームの比較より—
4. 巡礼の諸相
5. Visual Piety (視覚的信仰表明行為) の概念について
6. 禪の象徴記号について
7. 宗教史の縁起法について—諸宗教の神学に相対する視座の構築—
8. 『論理哲学論考』における「沈黙」を巡って
9. 神学 (真宗学) と宗教哲学

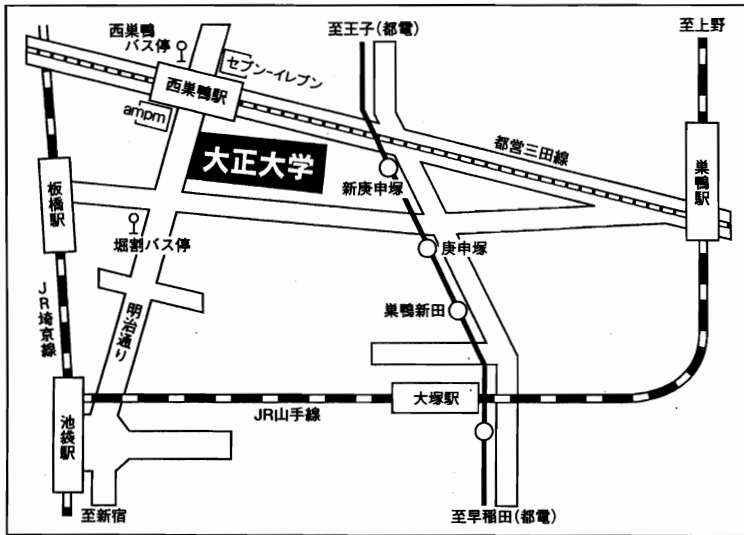
- 長谷 瑞光
近藤 剛 (京大)
浅川 泰宏 (慶大)
藤原久仁子 (お茶の水女子大)
荒井 芳廣 (大妻女子大)
何 燕生 (郡山女子大)
田中かの子 (駒大)
神尾 和寿 (流通科学大)
松塚 豊茂 (島根大)

15日(日) 13:30~16:30

1. 文化変動論としての宗教儀礼研究
2. C.ベルの儀礼論—儀礼から儀礼化へ—
3. 草津温泉感謝祭に関する人類学的—考察—
4. キリシタン世紀における—神論的思惟—
5. カクレキリシタンと伝説
6. 越年儀礼における神仏習合の—形態—信州善光寺の場合—
7. 宝は田から—飯豊山信仰と「お福田」—
8. 聖日の祝祭を裏通りの酒場から—17世紀ロンドンとランターズ—
9. ネパールにおける王宮事件と神話の作用

- 山崎 美恵 (共栄大)
森下 三郎 (天理大)
横井 教章 (曹洞宗総合研究センター)
狭間 芳樹 (京都光華女子大)
宮崎賢太郎 (長崎純心大)
小林 順彦 (大正大総合佛教研究所)
佐野 賢治 (神奈川大)
木田 理文 (文化伝承研究センター)
高橋 渉 (宮城学院女子大)

アクセス・マップ



〈J R〉

- 山手線池袋駅下車。池袋駅東口から都営バス（浅草寿町行か西新井駅行）で堀割あるいは西巣鴨（大正大学前）下車。徒歩2分
- 埼京線板橋駅下車。徒歩10分
- 山手線巣鴨駅下車。都営地下鉄三田線に乗り換え、西巣鴨駅下車。徒歩2分

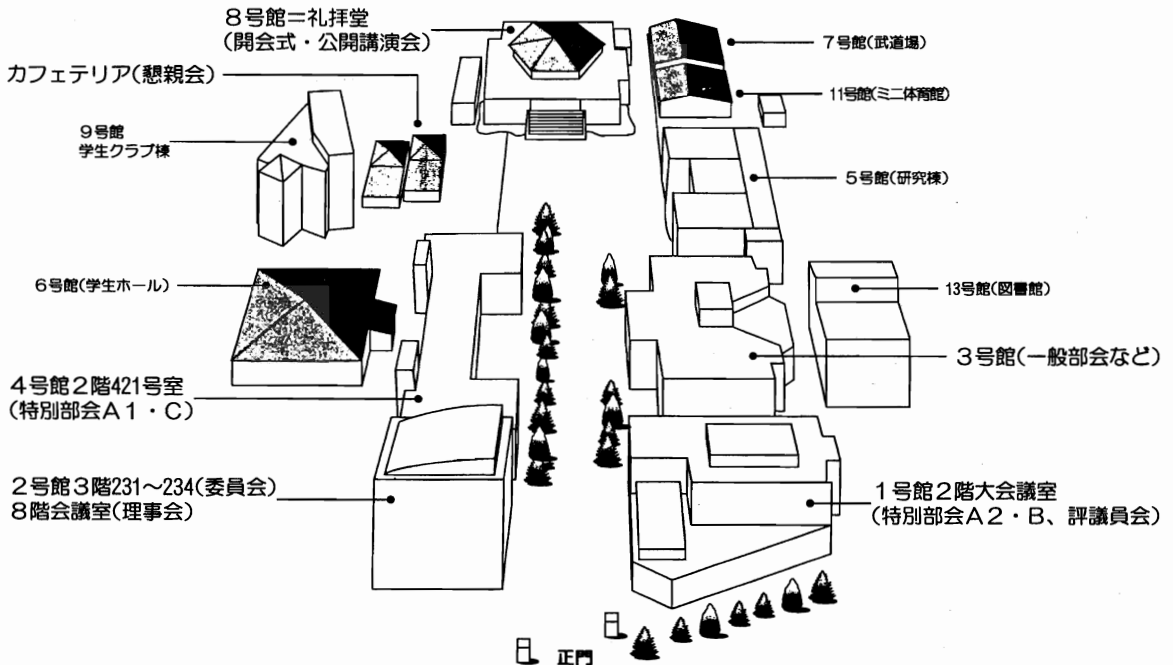
〈地下鉄〉

- 都営地下鉄三田線（三田—西高島平）西巣鴨駅下車。徒歩2分

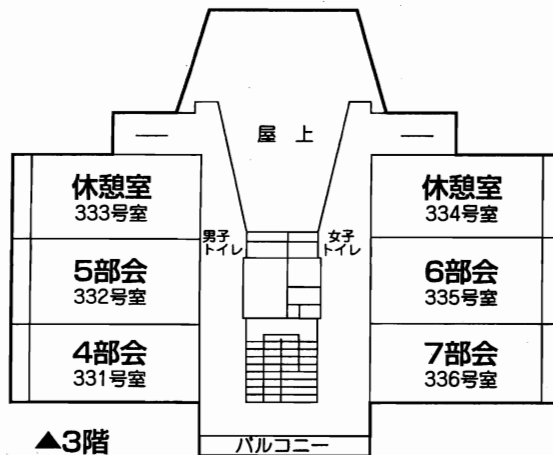
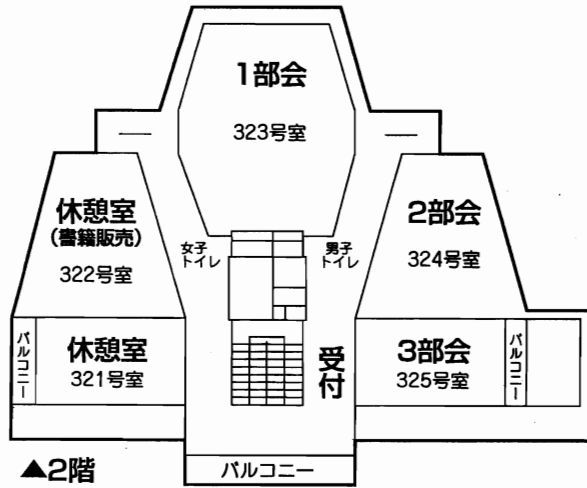
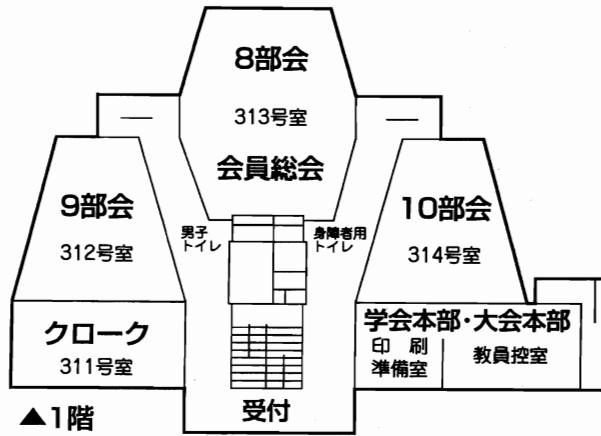
〈都電〉

- 都電荒川線（早稲田—三ノ輪橋）庚申塚駅下車。徒歩7分

大正大学巣鴨校舎



3号館 (受付・一般部会・大会本部・学会本部・会員総会・クローク・休憩室)



レジュメを提出される方へ

レジュメは、表紙（本プログラム18頁）・本文の順にホチキスでとめ、フロッピーディスク（FD）をご提出の方はFDを添えて、会場係にお渡し下さい。

締切 大会最終日（9月15日） 16時30分

以後の提出、訂正は一切受け付けません。

枚数 400字詰縦書き原稿用紙4枚以内

パソコン、ワープロ原稿を1行40字で作成の場合は、40行以内

枚数を超過した場合は掲載できないこともございます。ご注意下さい。

本文

- ・縦書き（印字も縦書き。邦文の数字は漢数字をお使い下さい）。
- ・なるべく、パソコン、ワープロでプリントアウトした原稿をご提出下さい。
- ・欧文を手書きされる場合は活字体で書き、イタリックは下線で指示して下さい。
- ・図表等は掲載できませんので、添付しないで下さい。
- ・校正は事務局で行います。

【レジュメをパソコン、ワープロでご作成の方へお願い】

- ・レジュメと一緒にFDをご提出下さい。FDは返却しませんが、ご了承下さい。
FDのラベルに、「氏名／パソコンはOS名・ソフト名（例：Windows・ワード）／ワープロ専用機は機種名」をご明記下さい。
- ・MS-DOSに変換済みのFDに、テキスト形式で保存していただければ幸いです。
- ・レジュメとFDの内容が異なっていた場合は、レジュメ通りに印刷します。

【欧文タイトルについて】

- ・英語——邦文題目と照らして、ネイティブスピーカーが手を加えることがあります。
- ・英語以外の言語——発表者が提出したタイトル通りに掲載します。

日本宗教学会事務局

レジュメ表紙 (4箇所全てにご記入のうえ、切り離してお使い下さい。)

発表題目 (縦書き。副題を含めて三〇字以内。副題の始めと終わりはターシ —〇〇—)

発表者名 (縦書き)

欧文タイトル (活字体。イタリックは下線で指示して下さい)

発表者名のローマ字表記 (姓・名の順。例：鈴木一郎 → SUZUKI Ichirō)